

枚方信用金庫 ひらしんレポート

2023年 9 月期

(2023年 4 月 1 日 ~ 2023年 9 月30日)



ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。この度、2023年度上半期の業績や活動の取組みなどを掲載しました「ひらしんレポート2023年9月期」を作成致しましたので、ご高覧頂ければ幸甚に存じます。

当金庫は、地域の皆さまとの共存共栄のもと、地域に根差した金融機関として、活動しております。先行き不透明な時代ではありますが、私たちは地域の皆さまの声に寄り添い、お困りごとにお応えすることで、地域の持続的な発展に貢献できるよう努めてまいります。これからも、地域の皆さまの架け橋として、役職員一丸となって業務に邁進してまいりますので、引き続き温かいご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

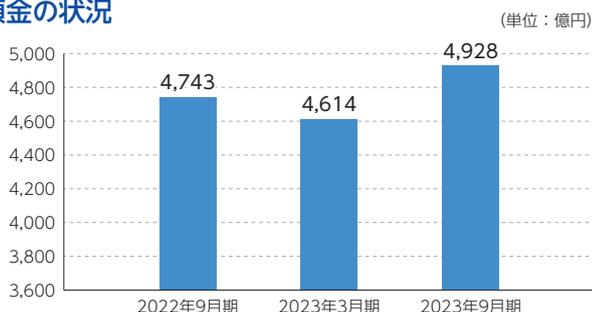
(注) 信用金庫においては中間決算制度がないため、本誌に掲載している計数につきましては、会計監査人の監査は受けておりません。なお、各計数は単位未満を切り捨てて表示しているため、合計額が一致しない場合がございます。

当金庫の概要

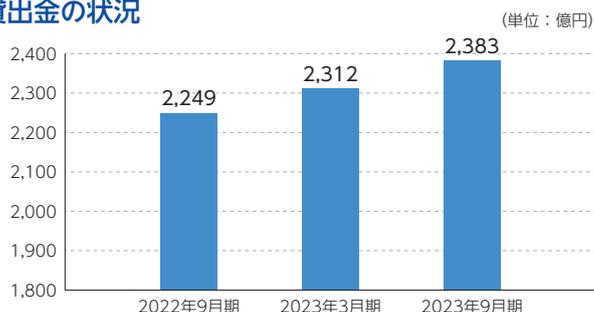
- 本部所在地 大阪府枚方市岡東町14番36号
- 本店所在地 大阪府枚方市岡東町12番1号
- 創立 昭和25年8月1日
- 出資金 11億40百万円
- 会員数 13,383人
- 常勤役員数 321人
- 総資産 5,247億52百万円
- 預金残高 4,928億94百万円
- 貸出金残高 2,383億77百万円
- 店舗数 20ヶ店
- 店外ATMコーナー 15ヶ所

預貸金の状況

預金の状況



貸出金の状況



貸出金の内訳

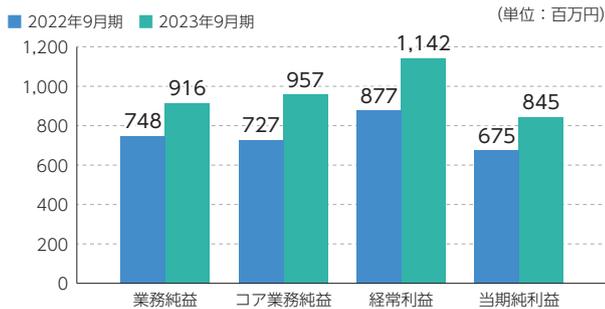
(単位：百万円)

	2022年9月期	2023年3月期	2023年9月期	増減額	増減率
製造業	9,701	9,735	9,422	▲ 313	▲ 3.22
農業・林業	2	2	10	8	400.00
漁業	—	—	—	—	—
鉱業	—	—	—	—	—
建設業	29,067	29,644	30,089	445	1.50
電気・ガス	14	15	31	16	106.66
情報通信	110	87	71	▲ 16	▲ 18.40
運輸・郵便	4,485	4,338	4,496	158	3.64
卸売・小売	15,286	15,660	15,363	▲ 297	▲ 1.90
金融・保険	6,152	6,263	6,266	3	0.04
不動産業	84,232	90,300	98,030	7,730	8.56
物品賃貸	1,189	1,265	1,376	111	8.77
学術研究	1,382	1,407	1,610	203	14.42
宿泊業	1,393	1,303	1,599	296	22.71
飲食業	3,063	3,093	2,960	▲ 133	▲ 4.31
生活関連サービス	5,488	5,132	4,816	▲ 316	▲ 6.16
教育・学習	242	242	403	161	66.52
医療・福祉	9,560	9,449	9,141	▲ 308	▲ 3.26
その他サービス	6,256	6,390	6,662	272	4.25
事業者計	177,629	184,335	192,355	8,020	4.35
地方公共団体	12,971	12,276	11,661	▲ 615	▲ 5.01
個人	34,355	34,634	34,360	▲ 274	▲ 0.80
合計	224,957	231,246	238,377	7,131	3.08

預金につきましては、個人預金・法人預金ともに順調に残高が増加しました。特に、年金受給口座の残高増加や、6月より取扱いを開始した「ひらしん万博応援定期」が好評であったこともあり、個人預金は前期末比105億93百万円増加の3,908億48百万円となりました。預金全体では前期末比314億17百万円増加の4,928億94百万円となりました。

貸出金につきましては、不動産業に対する資金需要が引き続き堅調であったことや、運送業等における2024年問題を踏まえ、先行した資金繰り支援を積極的に取り組んだ結果、貸出金全体では前期末比71億31百万円増加の2,383億77百万円となりました。

損益の状況



貸出金利息については、貸出金残高の増加や、利回りの上昇により、前年同月比2億50百万円増加の21億26百万円となり、資金利益は前年同月比3億33百万円増加の26億73百万円となりました。経費につきましては、人件費の増加や、本店営業部の仮店舗への移転費用を計上したこと等により、前年同月比1億10百万円増加しましたが、前述の資金利益の増加を主因とし、当期純利益は1億69百万円増加の8億45百万円となりました。

自己資本比率

自己資本の額と自己資本比率の推移

2023年9月期自己資本比率

$$\frac{\text{自己資本の額 (267億97百万円)}}{\text{リスク・アセット等の額の合計額 (2,289億8百万円)}} \times 100 = 11.70\%$$

(単位：百万円)

		2022年9月末		2023年3月末		2023年9月末	
			経過措置による不算入額		経過措置による不算入額		経過措置による不算入額
自己資本の額*1	(イ)	25,542		26,063		26,797	
リスク・アセット*2等の額の合計額	(ロ)	214,061		218,070		228,908	
自己資本比率【(イ)/(ロ)】		11.93%		11.95%		11.70%	

*1. 自己資本の額 …… 主に、内部留保による資本の積み上げである「利益剰余金」のほか、地域のお客さまからお預かりしている出資金等により構成されています。

*2. リスク・アセット …… 各資産項目に定められたリスクウェイトを乗じた額です。

有価証券の時価情報

その他有価証券

(単位：百万円)

種類	2022年9月末			2023年3月末			2023年9月末			
	貸借対照表計上額	取得原価	差 額	貸借対照表計上額	取得原価	差 額	貸借対照表計上額	取得原価	差 額	
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株式	1,156	823	332	1,393	951	441	1,638	1,002	635
	債券	17,021	16,815	205	13,518	13,370	148	9,027	8,954	73
	国債	920	901	18	515	502	13	507	502	5
	地方債	1,814	1,799	15	1,613	1,599	14	1,005	999	6
	社債	14,286	14,114	172	11,389	11,269	120	7,514	7,452	61
	その他	12,394	11,845	549	11,928	11,475	453	12,008	11,451	557
小計	30,571	29,484	1,087	26,840	25,797	1,043	22,673	21,408	1,265	
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株式	523	623	△ 99	370	428	△ 58	204	239	△ 35
	債券	62,053	63,385	△ 1,332	65,047	66,744	△ 1,696	69,314	72,103	△ 2,789
	国債	6,513	6,962	△ 449	6,507	6,963	△ 456	6,166	6,964	△ 798
	地方債	24,870	25,296	△ 426	25,522	26,094	△ 572	25,445	26,394	△ 949
	社債	30,670	31,126	△ 456	33,018	33,686	△ 667	37,702	38,744	△ 1,042
	その他	21,272	23,096	△ 1,824	20,980	22,266	△ 1,286	21,305	22,751	△ 1,445
小計	83,849	87,105	△ 3,255	86,398	89,440	△ 3,041	90,824	95,094	△ 4,270	
合計	114,421	116,589	△ 2,167	113,238	115,237	△ 1,998	113,497	116,502	△ 3,005	

※2022年9月末、2023年3月末及び2023年9月末において、「満期保有目的の債券」に該当する取引はありません。

不良債権の状況

信用金庫法開示債権及び金融再生法開示債権の保全・引当状況

(単位：百万円)

区 分	2022年9月末	2023年3月末	2023年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	886	1,128	1,037
危険債権	4,022	3,845	4,251
要管理債権	1,870	1,875	1,844
三月以上延滞債権	21	23	0
貸出条件緩和債権	1,848	1,851	1,844
小計 (A)	6,779	6,849	7,133
保全額 (B)	5,804	5,832	6,127
個別貸倒引当金 (C)	808	805	798
一般貸倒引当金 (D)	10	10	10
担保・保証等 (E)	4,985	5,015	5,317
保全率 (B) / (A) %	85.62%	85.14%	85.89%
引当率 ((C) + (D)) / ((A) - (E)) %	45.65%	44.52%	44.58%
正常債権 (F)	219,232	225,504	232,426
総与信残高 (A) + (F)	226,011	232,354	239,559

◆ **破産更生債権及びこれらに準ずる債権**
破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。

◆ **危険債権**

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。

◆ **要管理債権**

「三月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金をいいます。

◆ **正常債権**

債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権をいいます。

2023年度トピックス

「万博を契機とした地域活性化セミナー」を開催しました

枚方市、北大阪商工会議所と連携し、「大阪・関西万博」を契機とした「ひらかた万博」の推進・PR、ならびに地域での機運醸成と地域活性化への活用に向けたセミナーを4月10日に開催しました。当金庫は、「淀川舟運」や未来の移動手段「空飛ぶクルマ」の社会実装など、「大阪・関西万博」「ひらかた万博」を通じて、地域活性化に向けた取組みを行ってまいります。



守口門真商工会議所と連携協定を締結しました

地域産業の振興・地域経済の活性化を目的に、4月13日、守口門真商工会議所と連携協定を締結しました。この連携により当金庫は、北河内7市内全ての商工会議所、商工会との連携協定を締結することとなり、更なる地域事業者様の課題解決に向け取り組んでまいります。



門真市公民連携子どもの居場所「子どもTERRACE」がオープン

門真市における子どもの第3の居場所づくりとして、7月25日、門真東支店に「子どもTERRACE」がオープンしました。同施設は子どもの見守り及び支援を目的とし、当金庫は門真東支店会議室の無償提供を行いました。また、内装品等は、門真市と事業協定を締結している、イケア・ジャパン株式会社様から寄附いただきました。



「第13回ひらしん年金友の会1泊2日旅行」を開催しました

9月3日～14日にかけて「ひらしん年金友の会」会員約250名のお客さまにご参加頂き、長野県伊那市方面へ1泊2日の旅行を開催しました。「びんころ神社」での健康長寿祈願や、「千畳敷カール」での雄大な大自然など、参加した皆さまにお楽しみ頂けた旅行となりました。



〒573-0032
枚方市岡東町14番36号
TEL 072 (841) 1172 (代表)

新商品のご案内等の最新情報は《ひらしん》ホームページをご覧ください

<https://www.hirakata-shinkin.co.jp/>

